

岡山大学教育学部附属中学校 科学部科学班

川ごみ拾いの活動(R3.7.30実施)について

川ごみ拾いをした場所

★今回川ごみ拾いをしたのは、吉井川と旭川を繋ぐ人工水路の倉安川というところ。倉安川の吉井川側の起点として設けられた倉安川吉井水門は世界かんがい施設遺産に認定されている。

★土手が急で滑りやすくごみを拾いずらい事もあり、たくさんのごみが捨てられている。

参考 おかやまの埋もれた歴史再発見



発見したごみとその数 パート 1

	1 1
	1 2
 <p>ペットボトル</p>	1 6
 <p>洗剤容器</p>	2
<p>食品トレイ等</p>	3 3
<p>レジ袋 ビニール袋</p>	1 8

<p>農業資材 苗ポット 寒冷紗 マルチシート等</p>	3
 <p>ビン類</p>	3
<p>発砲スチロール</p>	3
<p>金属類（空き缶以外） 網・缶詰缶等</p>	2 5
<p>紙パック類 たばこの吸い殻等</p>	1 9
<p>マスク</p>	5

発見したごみとその数 パート2

たばこの吸い殻とともによく捨てられて
のは、ライター（計6個）

家電製品も捨てられていて、カメラ・携帯・
電卓・ゲーム機・ラジオ等があった。



中身がそのまま入っているペットボトル
もあり分別の際に苦労した。



橋の下に自転車が捨てられていたりも...

調べて気づいたこと・感想

・倉安川にごみがたくさん落ちていた理由は、旭川から異常出水時にすごい勢いでごみが流れ込んでくるのでは？という環境の面から考えた意見もあれば、土手の土が滑りやすくごみを拾う人が少ないのではないかと人通りが少なく、ポイ捨てをしても罪悪感が少ないから捨ててしまっているのでは？という人間の心理の面から考えた意見もあった。

・今まで川ごみ拾いに参加したことがあまりなかったが、思ったよりもごみがたくさん落ちていて唖然とした。ふつう捨てられていないような家電製品や自転車が目立っているようにも思える。また、たばこの吸い殻やお菓子の袋など細かいごみが拾いづらく苦労した。ごみの量もさることながら臭いもひどかった。今回の事が地域に貢献出来ていればいいと思う。地域の実態もわかり、環境面に対する課題に関心を向けることができた。持ち帰った水で倉安川の水質や生物のすみやすさを調べ、これからも地域に貢献していきたい。